

○学習プログラムの開発

『地域の資源や新しい技術をビジネスに活用できる商業人』

(ア) 多面的、総合的、批判的に考える力

地域資源をビジネスに活用する知識・技術を身に付ける。

(イ) 未来を予測し、企画・計画・立案できる創造力

地域の資源や新しい技術を活用し、ビジネスの企画・立案に関する知識・技術を身に付ける。

(ウ) 課題解決のために挑戦し継続する力

ビジネスや地域産業の復興に活用できるアプリケーションソフトに関する知識・技術を身に付ける。

(エ) コミュニティ形成力 (伝える力・コミュニケーション力)

地域復興、活性化につなげるための地域資源を効果的に情報発信する知識・技術を身に付ける。

(オ) 情報収集・活用・統合力

ビジネスや地域資源を見直すために必要な知識・技術を身に付ける。

○具体的・特徴的な実践内容

(ア) 多面的、総合的、批判的に考える力

地域資源をビジネスに活用する知識・技術を身に付けるため、リーサスを活用した地域経済分析・分析した内容を踏まえた住民向けのビジネスアイデア発表会などを行った。

学習の成果では、地域の課題について全体の90%近い生徒が地域課題について多角的に見ることができたと回答した。また、地域資源について課題解決につなげるために評価・判断する力も身に付けることができた。



『地域課題について様々な視点(経済・環境)でみることができる』

	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
事前(H29.9)	12%	57%	30%	2%
事後(R.1.9)	0%	23%	63%	14%

『地域資源の良し悪しについて評価・判断することができる』

	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
事前(H29.9)	13%	27%	40%	20%
事後(R.1.9)	1%	21%	51%	27%

(イ) 未来を予測し、企画・計画・立案できる創造力

地域課題解決に向けたビジネスの企画・立案に関する知識・技術を身に付けるため、地域の現状を把握するための市場分析を実施し、その結果を踏まえ、区内に開設した公設民営商業施設での店舗実習などを行った。

商業施設での活動は、市場調査や分析学習を通して、住民の方々の意識を的確につかむための調査力を付けることができ、「帰還促進」のためのアイデアの考案や企画の創造力を身に付けることができた。



『課題解決を踏まえた未来分析(アイデア)を立案することができる』

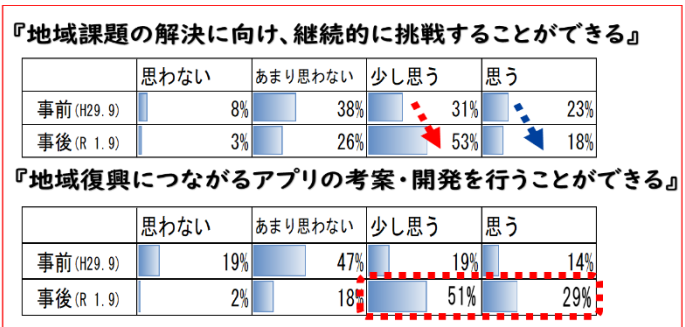
	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
事前(H29.9)	13%	27%	40%	20%
事後(R.1.9)	1%	21%	51%	27%

『地域課題の解決に向けた計画をたて、行動することができる』

	思わない	あまり思わない	少し思う	思う
事前(H29.9)	3%	52%	34%	11%
事後(R.1.9)	0%	22%	67%	11%

(ウ) 課題解決のために挑戦し継続する力

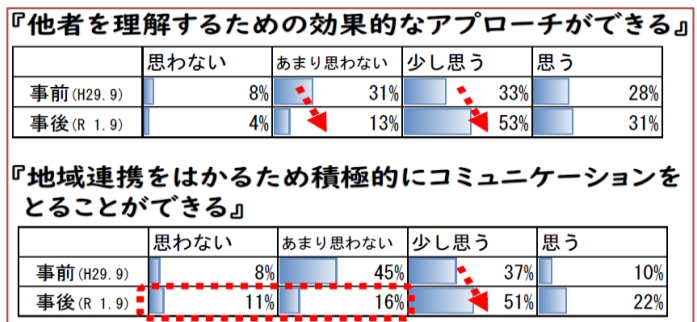
地域産業の復興に活用できるアプリ開発に関する知識・技術を身に付けるため、アプリ開発に携わる外部講師講習や企業研修などを行った。活動の成果は、継続的に地域課題解決に挑戦しようとする学習を通して、意欲が強くなり「いいものを開発しよう」という意識の向上につながった。しかし、開発に思いのほか時間がかかり、アプリの検証・改善の時間が取れなかったことが課題である。



(エ) コミュニティ形成力 (伝える力・コミュニケーション力)

地域復興、活性化につなげるための地域資源を効果的に情報発信する知識・技術を身に付けるため、新たなまちづくりについての講話学習や商店街の空きスペースを活用した販売実習活動なども行った。

町のにぎわい創出やコミュニケーション力の向上につなげることはできたが、講話や販売活動も一過性のものであったため、コミュニティ形成において、継続的なアクションをしていかなければコミュニケーション力が身に付かないことを実感した。



(オ) 情報収集・活用・統合力

ビジネスや地域資源を見直すために必要な知識・技術を身に付けるため、定点調査による地域の現状分析学習や、地域資源を活用した商品開発学習などを通して、復興につながる情報発信を行った。

地域資源を活用した商品開発等の情報発信力を学ぶことができたが、一過性のものとせず継続的に発信していかなければならないことが課題である。

